

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2007-230973

(P2007-230973A)

(43) 公開日 平成19年9月13日(2007.9.13)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 K 36/28 (2006.01)	A 6 1 K 35/78 T	2 B 1 5 0
A 2 3 L 1/30 (2006.01)	A 2 3 L 1/30 B	4 B 0 1 8
A 6 1 P 35/00 (2006.01)	A 6 1 P 35/00	4 C 0 7 1
A 6 1 K 31/343 (2006.01)	A 6 1 K 31/343	4 C 0 8 6
A 2 3 K 1/16 (2006.01)	A 2 3 K 1/16 3 O 4 C	4 C 0 8 8

審査請求 未請求 請求項の数 10 O L (全 15 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2006-57997 (P2006-57997)  
 (22) 出願日 平成18年3月3日 (2006.3.3)

(71) 出願人 304028346  
 国立大学法人 香川大学  
 香川県高松市幸町1番1号  
 (71) 出願人 599073917  
 財団法人かがわ産業支援財団  
 香川県高松市林町2217番地15  
 (71) 出願人 392015273  
 讃岐塩業株式会社  
 香川県坂出市大屋富町1793番地の3  
 (74) 代理人 100102314  
 弁理士 須藤 阿佐子  
 (74) 代理人 100123984  
 弁理士 須藤 晃伸

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 抗ガン活性作用を有する組成物。

(57) 【要約】

【課題】 ヤーコンの芋皮および/または葉茎部から、優れた抗ガン活性作用を有する組成物を提供すること。

【解決手段】

ヤーコン、好ましくはヤーコンの芋皮および/または葉茎部由来の抗ガン活性成分を配合した抗ガン活性作用を有する組成物発、好ましくはガン活性作用を阻害すべき疾患を治療または予防するための組成物。上記の活性成分がヤーコンを溶媒で抽出した画分である。溶媒がヘキサンである。上記の活性成分が、9-アセトキシ-10(2,3-ジメチル-オキシランカルボニルオキシ)-4メチル-12-メチレン-13-オキソ-3,14-ジオキサ-ロリシクロ[9.3.0.0<sup>2,4</sup>]テトラデ-7-セン-8-カルボン酸メチルエステルを当該活性作用の有効成分としている。上記組成物が、発ガン活性作用を抑制するための食品添加物、食品素材、飲食品、医薬品・医薬部外品および飼料からなる群から選ばれる形態のものである。

【選択図】 図1

